

日韓の歴史からの学び——尹東柱^{ユンドンジュ}の生涯と詩を中心に

2017/02/15 井田 泉

(尹東柱関連)

1. 北間島^{フツカンド} 明東^{ミンドン}～龍井^{リョンジン}

1917.12.30 中国吉林省明東^{ミンドン}に誕生

(父・尹永錫^{ユンヨンソク}、母・金龍^{キムリョン})

独立運動とキリスト教精神の地
幼児洗礼を受ける(長老教会)



1925.4 明東^{ミンドン}小学校入学

同級生に宋夢奎^{ソンモンギョ}(従兄弟、日本で獄死)、文益煥^{ムンイクファン}(後に牧師)

1931 晩秋、龍井^{リョンジン}に転居

1932.4 龍井^{リョンジン}の恩真^{オンジン}中学校に入学 詩を書き始める

2. 平壤^{ピョンヤン}

1935.9 崇実^{ソンシル}中学校3年に編入

1936.3 神社参拝拒否により崇実は当局より弾圧を受け、学校紛糾のため退学
故郷に帰り、光明^{クァンミョン}学園中学部に編入

「マンドリ」1937.3

1905 日韓保護条約

1909 安重根、伊藤博文を射殺

1910 韓国併合(大日本帝国による植民地支配)

1911 聖公会神学院発足

1919.3.1 三一独立運動起こる

1923.9.1 関東大震災 朝鮮人虐殺

張準相^{チャンジュンサン}(立教大学学生・奈良基督教会信徒) 東京を逃れて吉村大次郎司祭(奈良)に助けられる。

12月 福岡神学校へ(後に聖ガブリエル教会を創立。
任大彬^{イムデビン}司祭はその孫)

1925.10 ソウル南山に朝鮮神宮創立(祭神は天照大神と明治天皇)

1925年11月 張準相(張本栄)師、在日同胞への伝道のため大阪・ヨハネ学園内で集会開始(聖ガブリエル教会の発端)

1935 日本聖公会「紀元節特禱」を制定

1935.11.14 平安南道知事、公私立中等学校校長会議で神社参拝を命令

1937 朝鮮総督府「皇国臣民の誓詞」を制定。

皇国臣民ノ誓詞(一般及上級学校用)

一、我等ハ皇国臣民ナリ 忠誠以テ君国ニ報ゼン

一、我等皇国臣民ハ 互ニ信愛協力シ 以テ団結ヲ固クセン

一、我等皇国臣民ハ 忍苦鍛錬力ヲ養ヒ 以テ皇道ヲ宣揚セン

<p>3. ソウル (当時、京城)</p> <p>1938.4.9 ^{ヨンヒ}延禧専門学校 (現在の延世大学校) 文科に入学</p> <p>1941.12.27 戦時学制短縮により延禧専門学校を卒業</p> <p>「新しい道」1938.5 「弟の印象画」1938.9 「コスモス」1938.9</p> <p>「自画像」1939.9 「八福」1940.12 「十字架」1941.5</p> <p>「目を閉じて行く」1941.5 「もうひとつの故郷」1941.9</p> <p>「星を数える夜」1941.11 「序詩」1941.11</p> <p>彼の詩には、自らの死を予見しつつ再生・復活の希望を思わせるものがある。</p> <p>日本渡航前、キルケゴール (デンマークのキリスト教思想家) を耽読。</p> <p>1942.1.29 日本渡航のため「平沼東柱」^{ひらぬまとうちゅう}と改名、延禧専門学校に届け出る。</p> <p>「懺悔録」1942.1.24</p> <p>4. 東京</p> <p>1942.3 日本に渡る</p> <p>1942.4 立教大学文学部英文科に入学</p> <p>「白い影」1942.4 「たやすく書かれた詩」1942.6 「春」1942.6</p> <p>5. 京都</p> <p>1942.10 同志社大学文学部英文学科に転入</p> <p>1943.5 宇治へピクニック</p> <p>1943.7.14 京都下鴨警察署 (特高) に逮捕される</p> <p>1944.3.31 京都地方裁判所で懲役2年の判決を受ける (治安維持法違反)</p>	<p>1937 日中戦争開始</p> <p>1938.9.10 朝鮮イエス教長老会総会、当局の強制により神社参拝を決議</p> <p>1939.2.4 ^{チュギョル}朱基徹「5つの私の祈願」説教</p> <p>1939 宗教団体法成立</p> <p>1940 皇紀二千六百年奉祝日本聖公会信徒大会</p> <p>外国人主教辞任</p> <p>1941.12.8 日本、真珠湾を攻撃、太平洋戦争始まる。</p> <p>張準相師、逮捕される。</p> <p>1942 聖ガブリエル教会 集会禁止、閉鎖</p> <p>1942 工藤義雄司祭を朝鮮聖公会主教として按手 (大韓聖公会は「補佐主教」扱い)</p> <p>1943 日本聖公会法的組織解消</p> <p>1944 聖公会神学院強制閉鎖</p>
--	---

<p>尹東柱は韓国の歴史、言葉、文化が奪われ、失われていく状況に対して、民族の独立を願った。しかしハングルで詩を書くこと自体が犯罪扱いされるものであった。「独立思想の鼓吹」 京都時代の詩は警察に没収されて見つかっていない。</p> <p>6. 福岡 福岡刑務所に収監される 英和对訳聖書を家族に求める 拷問、虐待、人体実験？</p> <p>1945.2.16 午前3時36分 福岡刑務所北三舎2階独房108号室で絶命 (解放6ヵ月を前に) 満27歳</p> <p>1945.3.6 龍井の自宅で葬儀</p> <p>1945.6.14 龍井に尹東柱の墓碑建立</p> <p>7. その後 1948.1 ソウルで遺稿詩集『空と風と星と詩』が刊行される</p> <p>1965.2. 尹一柱「兄、尹東柱——彼の二〇周忌に」基督公報 1965.2.20</p> <p>1968.11.2 ソウル・延世大学校内に詩碑建立</p> <p>1985.5.14 龍井に墓と石碑が発見される</p>	<p>1944.4.21 朱基徹牧師、獄死</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1941年改正) 治安維持法第1条 国体ヲ変革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者又ハ結社ノ役員其ノ他指導者タル任務ニ従事シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ7年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ処シ情ヲ知リテ結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ為ニスル行為ヲ為シタル者ハ3年以上ノ有期懲役ニ処ス</p> <p>第5条 第1条乃至第3条ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ実行ニ関シ協議若ハ煽動ヲ為シ又ハ其ノ目的タル事項ヲ宣伝シ其ノ他其ノ目的遂行ノ為ニスル行為ヲ為シタル者ハ1年以上10年以下ノ懲役ニ処ス</p> </div> <p>1945.8.15 日本敗戦、朝鮮解放</p> <p>1945 日本聖公会再建</p> <p>1946 聖公会神学院再開</p> <p>1954 張師、自宅で聖ガブリエル教会再開</p> <p>1965 日韓条約</p> <p>1966 張本栄司祭、逝去</p> <p>1984 第1回日韓聖公会宣教セミナー (ソウル)</p> <p>1985 日韓協働委員会設置</p> <p>1985 第2回日韓聖公会宣教セミナー (大阪)</p>
--	---

1995.2.16 京都・同志社大学内に詩碑建立



2017年2月11日(土) 尹東柱詩碑献花式の様子

2006.6.23 京都造形芸術大学高原校舎に詩碑建立

- 1986 第39 日本聖公会総会、ガブリエル教会と地域活動センターの建設のための募金を決議
- 1986 東京・ソウル教区青年交流協議会
- 1987 聖公会神学院、韓国研修旅行
- 1988 聖公会神学院主催「第30回臨床牧会訓練」差別発言
- 1992 聖ガブリエル教会・聖公会生野センター竣工・聖別式
- 1995 '95 日本聖公会宣教協議会「宣言」
- 1996 日本聖公会総会「戦争責任の宣言」を決議